

日本ボストン会会報

発行者 日本ボストン会事務局

1993年度総会の宿題 「次期代表幹事」について

幹事会

1993年度日本ボストン会総会は10月28日にNECの三田ハウス芝クラブで開催され、多数の会員が参加されました。「総会」と言うタイトルなので無味乾燥な会合と思われ参加を見合わせた方もいたと後日聞きました。当会の総会は年に一度の会員親睦の場ですので、1994年度総会は会員全員の参加を期待しております。

総会当日、ボストン日本人会の労作「ボストンへようこそ」が販売され、飛ぶように売れ、嬉しい悲鳴が上がりました。幹事・事務局の近藤百合子氏が担当で更なる販売促進に大活躍されておられます。

ゲストには日本テレビの関口宏サンデーモーニングで活躍中の辛淑王さんも参加され、会が大いに盛り上がりました。

全てが順調に行われた総会でしたが、吉野会長の後任の決定だけは、当日出来ず幹事会の宿題となりました。

その後幹事会で鋭意検討した結果、元ボストン総領事、前ニュージーランド大使、現東海大学教授の井口武夫先生にお願いすることとなり、ダグウッド会高木政晃会長と俣野・酒井両幹事がお願いに上がり、1994年8月以降であるならばと言う事でご承諾を戴きました。(次ページにつづく)

ボストン日本人会長のご挨拶

石川 定

ボストン日本人会会長就任に当たりまして、日本ボストン会の皆様は新しい年を迎えられ、益々ご健勝にご活躍の事とお慶び申し上げます。

私は今回ボストン日本人会会長に任命されました石川定です。

日本で医学校を終えたあと北米に渡り35年になりますが、その殆どをボストンに在住しています。

丁度初代堀内会長の頃、ニューヨークからボストンに移り、途中6年程カナダ・マニトバ大学医学部をへて、再びボストン・タフツ大学に戻り、今日に至っております。

此の間、日本帰国のチャンスにも余り恵まれず、今の日本の様子もよく分からず、新聞・テレビに頼る有り様です。

しかし、前会長吉野先生の過去3年間にわたる手取り足取りのご教導、又当会の皆様方のご支援を戴きまして、やっとだいぶ分かる様になりました。

これからは、自分なりに出来るだけ、会の為にお役に立つ様努力致します。そして、皆様方のご期待に添えます様勤めさせて戴きます。

末筆ながら日本ボストン会の益々のご発展を心からお祈り申し上げます。

ジャズ 音楽 の タ べ

日時	平成6年(1994年)6月10日(金) 18:00開場、18時半開演	
場所	「アンダンティーノ」 青山ツインビル西館地上1階(地下鉄銀座線/半蔵門線青山一丁目駅下車)	
音楽	竹中真先生(パークレー音楽院准教授)のジャズ演奏	
会費	お一人 7千円(お食事代込み)	
申込み先	日本ボストン会事務局	(詳細同封別紙参照)

北海道・マサチューセッツ協会

既にご存じの事と思いますが、北海道とマサチューセッツ州はシスター・ステートの関係にあり、北海道・マサチューセッツ協会が設立されています。

この協会を通じて道とマサチューセッツ州は大変活発な交流を図られています。

協会の活動はこの後の当会の会報で、協会の方からも直接ご紹介を頂ければと考えております。

3月に山下事務局長がご上京の折り、日本ボストン会幹事の藤盛氏のオフィスにお立ち寄り戴き、両会の今後の協力を話し合いました。

当会幹事の近藤宣之氏は昨年3月1日に北方圏センターにて開催されたマサチューセッツセミナーにおいて「ボストン地域における日本人社会と日系企業」と題して、40歳を過ぎて初めての海外駐在のご経験をお話しされた経緯があります。そこで協会の予定されている講演会への講師の推薦についても、早速ご協力申し上げることとし、3月23日の幹事会で相談を致しました。

連絡先:

北海道・マサチューセッツ協会

1993年度総会

(前ページからつづく)

ただし井口教授よりは高木氏にサポートして戴きたいとお話があり、3月23日の幹事会で高木氏と藤盛氏に副代表幹事になって戴く様に相談致しました。会員の皆様にも直しく御了承を戴きたいと思っております。

当会の会員は現在約100家族です。あまり積極的な勧誘はしておりませんが、今後はもう少し勧誘をしてはと考えています。

つきましては、会員皆様も是非勧誘して下さい。参加者がいる場合は事務局まで御連絡下さい。

米田幹事インドネシア・ ウンジュンパンダン総領事 として赴任

当会の有力幹事の一人である外務省の米田さんが、本年2月にインドネシアのウンジュンパンダン総領事として赴任されました。米田さんは元ボストン総領事館の次席で、吉野現代表幹事の強いご推薦で幹事になって戴きました。当会創立以来の活動的な幹事です。インドネシアご赴任後も当会幹事として引き続き活躍して戴くことをお願いし、ご了解を戴きました。

1月27日に関係者でささやかな送別の宴を浜松町「あみ熊」で行いました。

米田氏からは、当会幹事として外務省北米一課課長代理の関場馨子さん、およびニューイングランド関連の米国人メンバーとして米国大使館一等書記官のAnne T. Callaghanさんをご推薦戴き、3月23日の幹事会にご出席を戴き、今後は幹事としてご参加願えることが確認されました。今後のご活躍を期待します。

吉野美知子リサイタル

前号の会報で予告致しましたレディーズ会(新春コンサート)に代わり、日本ボストン会々員でパークレーの卒業生である吉野美智子さんのコンサート「FRESH AIR」をサポートすることを決定し、4月7日、高田馬場のアルファナインで開かれたリサイタルのご案内を会員にご案内申し上げます。当日の出演者は次のメンバーでした。

吉野美知子	Vocal
大森明	Saxophone
今泉正明	Piano
河原秀夫	Bass
原 大力	Drums
Special Guests	
Greg Hopkins	Trumpet
有海英雄	Guitar
(幹事 事務局)	

ボストン桜の木記念植樹 10周年目記念の桜苗木寄贈を募集中

社団法人 国際文化協会（理事長 石田克）はアメリカ・ワシントンのポトマック河畔の桜の木の先例にならない、市民レベルで「ボストン桜の木記念植樹」を続け、延べ二千本に近づく桜の苗木をチャールズ河畔に植樹し、毎年春になると可憐な花を咲かせるまでに成長してきています。

10年目を迎える今年も、Japan Society of Boston（ボストン日本協会）設立90周年をお祝いする意味をこめて、下記の要領で桜の苗木寄贈を募集中です。趣旨にご賛同願える方は、直接国際文化協会にお申込み願います。

- 植樹時期・・・・・・1994年5月
- 植樹場所・・・・・・チャールズ河畔両側
- 植樹本数・・・・・・500本
- 寄附金額・・・・・・1口 2万円
- 実施主催者・・・・マサチューセッツ州
在米ボストン総領事館
社団法人 国際文化協会
- 感謝状贈呈・・・・マサチューセッツ州知事の感謝状が贈られます
- 公募締切日・・・・・・1994年5月
- 申込先・・・・・・（社）国際文化協会

振込先・・・・・・・・

.....
3月23日の幹事会に於いて、日本ボストン会として一口の寄付申込みを決定し、早速申込み・送金を致しましたところ、4月4日付けにて入金の確認方々お礼状を頂戴いたしました。

現在、記念式典、植樹式、祝賀事業としての「日本映画祭」、「柿右衛門展」など、5月上旬実施を予定しマサチューセッツ州政府、ボストン日本協会と協議中の旨のご案内を載いております。

ボストンにおける岩倉一行の足跡

WG「ニューイングランド日本歴史研究会」& 「歴史を飲もう会」報告

去年の10月に行われた第一回会合に引き続き、今回は新年会も兼ねて、歴史研究家の泉三郎先生を八王子の先生のお店*にお尋ねし、「ボストンに於ける岩倉一行の足跡」についてお話を伺いました。

出席者は9名で、美しい日本庭園と数寄屋づくりの座敷という異空間の中、美味しい懐石料理とお酒を頂きながら、岩倉真視一行の果たした意義について思いを馳せることも出来ました。

*美さき苑 (☎ 0426-46-3330)
八王子市元横山町1-14-16

次回はオレゴン大学日本史教授A. ゴープル先生を囲む会を5月27日に計画しております。

今後とも、このような会を定期的に持ちたいと計画しておりますので、ご興味のある方はふるってご参加下さい。

幹事 金子佳生
宛先

「ボストンへようこそ」

在住日本人主婦の手作り「生活ガイド」
お蔭様ではほぼ完売

昨年10月の総会会場にて、会員の皆様に紹介販売を開始致しましたボストンに於ける生活ガイドブックは、関係者のご協力と一部マスコミを通しての広報、および国際交流マガジン「ワールドプラザ」No. 32（1994年2-3月号）（出版社：財団法人 国際文化フォーラム）で取り上げられました。

この結果、ボストン日本人会から購入致しました100冊は数冊を残し完売を致しました。

会員皆様のご協力に感謝を申し上げます。

事務局 近藤百合子

Georgia O' Keeffe の世界

WG 美術愛好会

アメリカ国外で初めて実現された今世紀のアメリカを代表する画家の一人であるO' Keeffe展がロンドン・メキシコを経て最終地の横浜で開催された(横浜美術館 - 1993年10月31日/1994年1月16日)。78点のO' Keeffeの作には画家としての願いが込められていた。

美術学校の学生から教師の道を選んだGeorgia O' Keeffe (1887-1986) は、1908年ギャラリー291 (ニューヨーク) を主催する写真家そしてヨーロッパ モダンアート 紹介者を主宰する写真家 Alfred Stiglitz によって才能を見出された。

1925年O' Keeffeは男性画家の領分とされた都会シリーズを描く。ニューヨーク シェラトンホテル30階からの幾何学的ビルディングの風景はその一つである。

大きくキャンバス一面に描かれた曲線の一つの花は、視覚を越えた内面的な表現でドラマティックである。

1946年、Modern Art Museum (ニューヨーク) では女性画家として初めてO' Keeffeの回顧展が催された。O' Keeffeの一つ又は二つの大きな単純な形、単純な構図とはっきりとした色彩の調和は、O' Keeffeの生涯を通して変わらないスタイルであった。

90歳の誕生日を迎えたのはニューメキシコ州のサンタフェ。O' Keeffeの生涯愛した景色がそこにあった。(1/24/'94記)

次回は"ニューヨークを生きたアーティストたち" 4/15-6/12 '94 於東京都美術館(上野公園内)の美術鑑賞を計画しております。

幹事 酒井 典子

宛先

幹事会記録

1993年11月1日 (14名出席)

1. 第2回総会報告

出席者 32組46名

収入(会費・キャッシュバー) 242,400円

支出(通信費・飲食費) 199,402円

差引残 42,998円

反省: 案内状は「懇親会パーティ」を表にだす事

2. 入会金(45万円)を定期預金に預替決定。

1994年1月24日 (13名出席)

1. 次期代表幹事選考

2. 会報第3号発行スケジュール

3. 米田氏の後任と送別会

4. 会員勧誘 (新会員 7名)

5. '94年度総会開催日(10月21日金曜日)

6. ポーツマスのホテル・ウエントワース保存活動支援方法の検討。

7. Japan Society of Boston (ボストン日本協会) 90周年記念行事への参加・協力方法の検討。

8. PCバンにグループ加入を検討。

1994年3月23日 (16名出席)

1. 次期代表幹事の内定報告。

2. 「ボストン桜の木記念植樹10周年」協賛。

3. 各WG活動報告。

4. ジャズ音楽会開催企画(6月10日)

5. 北海道・マサチューセッツ協会との交流。

6. PCバン Welcome Setの配付。

7. 米田氏の後任者の紹介。

8. 会員勧誘 (新会員4名)

9. 「ボストンへようこそ」販売報告。

10. 次回会合予定。

幹事会 (6月27日)

総会(10月21日)開催場所の打合せ。